

令和8年度「標茶町立中茶安別小学校 学力向上計画」

1 児童の実態

【令和7年度標茶町標準学力調査より】

教科	国語			社会			算数			理科			外国語			記号の意味 目標値を上 回る…◎ 目標値と同 等…○ 目標値を下 回る…△
	観点	知 技	思 判 表	主 体 的	知 技	思 判 表	主 体 的	知 技	思 判 表	主 体 的	知 技	思 判 表	主 体 的	知 技	思 判 表	
1年生 (現2年生)	△	△	○	△	△	○	△	△	○	△	△	○	△	△	○	△
2年生 (現3年生)	◎	△	○	△	△	○	△	△	○	△	△	○	△	△	○	△
3年生 (現4年生)	△	△	○	○	○	○	△	◎	○	○	○	○	△	△	○	△
4年生 (現5年生)	△	○	◎	△	△	○	△	◎	○	◎	○	○	◎	○	◎	○
5年生 (現6年生)	○	◎	◎	△	△	○	△	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○

○成果 (国語)
 ・「話す・聞く」力や漢字の読み取り、敬語の理解などは理解ができています。
 ・高学年は、「目的に応じた文章の要約」の力に進歩が見られた。
 (社会)
 ・地図記号の習得や、地域の名称・位置といった基礎的な知識は概ね定着した。
 (算数)
 ・計算の基礎(九九、整数の四則計算)や図形の性質(対称性など)の理解ができています。
 (理科)
 ・実験器具の正しい使い方や、自然現象に関する知識は目標値を上回った。
 (外国語)
 ・音声を通して情報の概要を捉える力や、アルファベットの読み書きの基礎は達成率が高い。

△課題 (国語)
 ・根拠や事実を明確にして書くことが、全体の課題。特に、複数の資料から情報を整理し、自分の意見を記述する力の育成。
 (社会)
 ・資料を関連付けて社会的現象の特色を考える力が課題がある。
 (算数)
 ・「計算のプロセスや理由を言葉で説明する」ことに課題がある。
 ・あまりのある除法の処理や、単位量あたりの大きさ(人口密度など)の活用問題で正答率が低下した。
 (理科)
 ・実験結果に基づいた科学的な考察を記述する力が不十分。
 (外国語)
 ・「基本的な文の語順」の理解や、例文を参考にしながら自分の考えを正確に書くことに課題がある。

2 目標

<ul style="list-style-type: none"> ・根拠を明確にし、多角的な視点から自分の考えを論理的に表現できる。 ・(知識・技能)全教科で全国平均および目標値を上回る定着を目指す。 ・(思考・判断・表現)活用問題(記述式)の無回答をゼロにし、全学年で目標達成率向上を目指す。
--

3 改善方策

<p>【授業での取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の振り返りに取り組む。 ・自分の考えを友達に説明し、互いの根拠を検討し合う活動に取り組む。 <p>【授業以外の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝学習や家庭学習での漢字・計算の反復により、「知識・技能」の定着を図る。 <p>【各機関との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の記述指導や論理的思考の育成方法を学び、9年間を見据えた学習指導を行う。 ・学力調査の結果を各家庭と共有し、学校と家庭での読書習慣や言語活動を推奨する。

4 実施計画

時期	授業	授業以外の取り組み	連携(研修、小学校、家庭)
4月	・授業開きオリエンテーション ・授業を互いに見合う	・計画的な家庭学習の取り組み開始 ・チャレンジテスト(前年度問題、前年度サポート問題) ・必要に応じた学習支援(通年)・朝読書・朝学習(通年) ・家庭学習の取り組み掲示(通年)	・本の紹介(通年) ・『家庭学習9ヵ年計画』『家庭学習の手引き』の配付・学級懇談会での説明 ・図書館バスの利用(通年)
5月		・全国学力・学習状況調査の結果分析と学力向上計画の見直し	・読書の呼びかけ
6月	・校内授業研～(1人1授業)		・学校サポートプラン
7月	・教職員自己評価①	・チャレンジテスト(1学期末問題、1学期サポート問題)	・授業参観、懇談会 ・学校サポートプラン
8月	・自己評価①を受けての学校改善プラン実施		・夏休みチャレンジ発表会 ・校内授業研事前研①
9月			
10月	・校内授業全体研①		・校内授業研事後研① ・校内授業研事前研②
11月	・校内授業全体研②		・校内授業研事後研②
12月	・教職員自己評価②	・チャレンジテスト(2学期末問題、2学期サポート問題) ・標茶町標準学力調査	・授業参観、懇談会
1月	・自己評価②を受けての学校改善プラン実施		・研究主題、仮説の検証 ・標茶町標準学力調査の結果を分析し、教員間で共有を図る。 ・分析結果を保護者に配布し、家庭学習の取り組みに生かす。
2月		・標茶町標準学力調査の結果分析と学力向上計画の見直し②	・全体研修(今年度校内授業研の振り返り・課題と成果) ・授業参観、懇談会 ・総合的な学習の時間発表会
3月	・授業改善計画		

5 評価方法

- 標茶町標準学力調査後に中間評価を行い、実施状況や課題と解決策を探る。
- 全国学力・学習状況調査後に評価を行い、成果とその理由を記述化して、次年度の数値目標を設定する。